

平成23年度
鹿児島大学法科大学院

第二次募集

小論文試験問題

平成23年3月5日(土)

答案作成上の注意

1. 「解答始め」の合図があるまで、この1ページ目を表にして、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題冊子は、このページを含めて9ページある。
3. 解答用紙は4枚配布する。
4. 解答用紙左上の設問に、設問の番号を記入すること。
5. 解答用紙右上のNo. に、設問ごとのページ番号(Ⅰ－1、Ⅰ－2、Ⅱ－1等)を記入すること。
6. 白紙答案がある場合でも、すべての用紙に受験番号・設問・小問の番号を記入して、必ず4枚すべてを提出すること。
7. 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に、横書きで記入すること。
8. 試験終了後、この小論文問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ってよい。
9. 設問の出典は、解答にあたり予断を与えないために割愛した。また、原文の字句・構成を一部省略・変更・追加した部分がある。

設問Ⅰ

以下の文章を読み、「中立性」に対する筆者の考えを説明しなさい（800字以内）。

（著作権処理手続中のため、文章の出典と引用箇所のみを表示します。）

【出典】 マイケル＝サンデル（鬼澤忍訳）『これからの「正義」の話をしよう』（早川書房、2010年）

【引用箇所】 318頁8行目～326頁5行目まで

以上

設問Ⅱ

あなたは、ある地方自治体が管理・運営する「市民交流センター」（以下、センターと呼ぶ）に勤務する職員である。このセンターは、地域住民の文化的な活動や非営利団体の拠点を提供するための施設である。5階建ての建物の中には、会議室、展示室、音楽スタジオ、小講堂、中講堂、調理実習室、和室、図書室、託児室などがある。センター内はすべて禁煙となっており、喫煙場所も設置されていない。各設備は、所定の料金を徴収しつつ、市民の利用に供している。利用の申込みが競合した場合は、抽選によって決定している。年間の利用者は約40万人であり、市民の貴重な交流の場として評価を得ているものの、税収の減少から運営コストの削減が課題となっている。

あるとき、利用者から「会議室が煙草臭い」との苦情が何件も寄せられた。調べてみると、各階の会議室はいずれも、毎朝、清掃業者が清掃を完了した時点では特に煙草の臭いがすることはないものの、夕方までの間に、心ない利用者が隠れて喫煙をすることによって、その後の室内に煙草の臭いが残ることがあるのが判明した。そこで、センターでは、会議室での隠れた喫煙を防ぐために、各会議室に利用者に向けた貼り紙をすることになった。以下は、センターの運営会議において、各職員が提案した貼り紙の文案である。

職員A氏が作成した貼り紙

「ここは禁煙です。他の利用者が大変迷惑しているのでおやめください。」

職員B氏が作成した貼り紙

「ここは禁煙です。喫煙した方は、今後、施設の利用をお断りします。」

職員C氏が作成した貼り紙

「いつも禁煙に協力いただきありがとうございます。」

職員D氏が作成した貼り紙

「ここは禁煙です。喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。疫学的な推計によると、喫煙者は肺がんにより死亡する危険性が非喫煙者に比べて約2倍から4倍高くなります。」

職員E氏が作成した貼り紙

「受付にて、煙草を所持していないか確認するための簡単な所持品チェックにご協力ください。ご協力いただいた方は、次回、施設利用申込みの抽選において、優先的に扱います。」

いずれの案を採用するかお互いに譲らず、運営会議では決着がつかなかった。そこで、この案件は、あなたに一任されることとなった。それぞれの案が実際にもたらすであろう具体的な効果・影響を総合的に勘案したうえで、いずれの案を採用するのが妥当であ

るかを決定し、その理由を説明しなさい（700 字以内）。